

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業			担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定) 年度	令和4年度	担当課室	医学教育課		医学教育課長 伊藤 史恵		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	コロナ克服・新時代開拓のための経済対策(令和3年11月19日閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会全体のデジタルトランスフォーメーション(DX)革命と今般の新型コロナウイルス感染症のまん延により、医療環境においてはオンライン診療等の本格導入が見込まれる中で、医療職の養成段階においても早急な対応が必要となっている。また、医療職養成教育における実習等の在り方についても、当該感染症の完全終息が見通せない中では、対面に加えDX等を活用するハイブリッドの実習が必須として求められている。上記の課題を解決するため、オンライン診療をはじめとする遠隔医療など新たな医療に対応できる人材を短期的に養成するための設備整備を行うことで、迅速に輩出することを目指す。また、DX等の手法により、従来の実習ではできなかった取組も可能とし教育手法の高度化を目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療系学部を有する国公立大学の中で、遠隔医療に関する教育内容の充実を検討している大学、コロナ禍における実習を実質的なものにするためのDXを活用した優れた教育内容の充実を検討している大学に対し、教育・実習体制を整備する際に必要となる機材等の購入を補助し、遠隔医療や、コロナ禍における実習を実質的なものとする教育プログラムの構築を支援する。【補助率:定額補助】								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	3,889.1	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	3,889.1	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	▲3,889.1	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	-	
	計		0	0	0	3,889.1	0		
	執行額		0	0	0	-	-		
	執行率(%)		-	-	-	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-	-		
活動内容 (アクティビティ)	選定大学を対象に、遠隔医療に関する教育内容を充実させるため、また、DXを活用しコロナ禍における実習を実質的なものにするため、教育・実習体制を整備する際に必要となる機材等の購入を補助することで、遠隔医療や、コロナ禍における実習を実質的なものとする教育プログラムの構築を支援する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	令和4年度までに、新たな医療に対応できる医療人材養成のための教育プログラムを257件構築する	各大学における教育プログラム構築数	活動実績	件	-	-	-	-	-
	当初見込み		件	-	-	-	257	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/交付予定大学数		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	21.6	
			計算式	/	-	-	-	3,889百万円/180大学	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度
	令和4年度までに、新たな医療に対応できる医療人材養成のための教育プログラムの履修者を輩出する	選定されたプログラムを履修した学生数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	26,482
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	各大学への調査								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策		
	政策評価	施策		政策評価書 URL
				該当箇所
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-	
該当箇所			-	

事業所管部局による点検・改善			
	項 目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新たな医療に対応できる人材を養成するものであり、国民や社会のニーズを反映しているものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新たな医療に対応できる人材を養成するものであり、必要とされる教育機器整備・人材養成を計画的にかつ早急に養成する観点から、国が財政支援を行いながら強力に推進する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新たな医療に対応できる人材を養成するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	外部有識者の評価を踏まえて選定しており、その妥当性や競争性は確保されている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は国が主体となって実施すべき事業であるため、国が負担することが妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて、支出先・使途を把握し、妥当なコスト水準かを厳正に確認することとしている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付決定・額の確定の際に、支出先・使途について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定する。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	教育機器等の納入計画の変更により事業計画の変更が生じ繰り越しを行ったものであり、理由は妥当である。
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	補助金の交付に当たっては、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認を行うなど、効果的、効率的な執行の観点からコスト削減にも努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
事業連	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
点検・改善結果	点検結果	本事業は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新たな医療に対応できる人材を養成するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されている。	
	改善の方向性	本事業の成果については、実績報告書等により確認するとともに、自大学以外の学生等に対しても教育の対象を広げるなど、事業成果の普及・発信を推進する予定である。	

外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	この事業は令和4年度をもって完了することとしている。 コロナ禍におけるオンライン診療等に対応できる新たな人材を、短期的に養成することは必要である。成果をよりの確に把握できる指標を設定し、本事業により得られた成果については適切に活用すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定終了	本事業により構築されたプログラムが今後も活用され、オンライン診療等に対応できる新たな人材を養成することができるよう、今後も大学へ向け働きかけを行うよう努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年度						
平成24年度						
平成25年度						
平成26年度						
平成27年度						
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度						
令和元年度						
令和2年度						
令和3年度						
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	<div>文部科学省 (3,889百万円)</div> <div>対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。</div> <div>【補助金等交付】</div> <div>A. 大学(全180大学) (233百万円)</div> <div>オンライン診療をはじめとする遠隔医療など新たな医療に対応できる人材を短期的に養成するための設備整備を行うことで、迅速に輩出することを目指す。また、DX等の手法により、従来の実習ではできなかった取組も可能とし教育手法の高度化を目指す。</div>					
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立大学法人富山大学			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品費	医療用シミュレーション設備等	229			
	その他	印刷製本費、会議費、通信運搬費、光熱水料	4			
	計		233	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人富山大学	4230005003054	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	233	補助金等交付	-	-	-
2	国立大学法人熊本大学	2330005002106	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	206	補助金等交付	-	-	-
3	学校法人東京薬科大学	3010105000214	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	194	補助金等交付	-	-	-
4	国立大学法人広島大学	1240005004054	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	76	補助金等交付	-	-	-
5	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	69	補助金等交付	-	-	-
6	国立大学法人東北大学	7370005002147	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	64	補助金等交付	-	-	-
7	国立大学法人北海道大学	6430005004014	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	63	補助金等交付	-	-	-
8	学校法人昭和大学	8010705000410	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	60	補助金等交付	-	-	-
9	学校法人国際医療福祉大学	6060005004332	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	58	補助金等交付	-	-	-
10	学校法人東邦大学	4010805000735	ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業	55	補助金等交付	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-